

# 令和6年度 図書館教育全体計画

新潟市立早通小学校

<b>図書システムの活用</b> ・児童は、本の検索や予約、人気本ランキングなどを見ることができる。 ・学級担任や図書委員会は、貸出業務を行うことができる。 ・学校図書館司書は、図書システムを利用して本の紹介をするなど、活用を推奨する。	<b>教育目標</b> たくましく のびゆく子	<b>児童の実態</b> ・図書の時間では、進んで借りたり読書したりする姿が見られる。 ・読書する子としない子の2極化が見られる。 ・課題解決に必要な資料を探し、活用する力に差がある。
	<b>重点目標</b> 夢と自信をもって学びに向かい、積極的に人や社会と関わりながら、より良い生き方を求めていく子ども	
	<b>図書館教育目標</b> (読書) 読書に親しむ子ども (学習) 資料を活用し学びを深める子ども (情報) 情報を収集・選択・活用できる子ども	
	<b>図書館教育の指導の重点</b> (読書) 進んで読書しようとする意欲を高める。 (学習) 資料を活用し、学びにつなげる力を育てる。 (情報) 情報の収集・選択・活用能力を高める。	

図書館教育運営の方針	
① 利用しやすい図書館運営に努める。 ② 各教科との関連を図り、計画的な図書購入と図書資料の充実に努める。 ③ 児童の読書量の維持・向上と、読書領域の拡充を図る。 ④ 図書や新聞等を活用し、子どもが主体的に課題解決できる場づくりに努める。	

各学年の指導の重点			
	低学年	中学年	高学年
読書	楽しんで読書しようとする態度を育てる。	幅広く読書しようとする態度を育てる。	進んで読書し、考えを広めたり深めたりする態度を育てる。
学習	図書館利用の仕方や本の扱い方を知り、図書館を利用することができるようにする。	学習に必要な資料を自ら探して読むことができるようにする。	課題解決に向け複数の資料を活用できるようにする。
情報	図鑑や科学的なことが書かれた本があることを知り、興味を持つことができるようにする。	事典や図鑑を参考にして必要な情報を集め、活用できるようにする。	必要な情報を選択収集し、適切に活用して課題解決し、発信できるようにする。

各教科・道徳・特別活動等との関連		
各教科	総合	道徳
・各教科の教材と関連させながら、読書活動の充実に努める。	・課題解決に必要な資料を収集し、活用する力を育てる。	・様々な読み物を読むことを通して、豊かな心情を培い、自分・他者への理解や尊重する態度を育てる。
特別活動	その他の活動	家庭・地域との連携
・「読み聞かせ」や「読書月間(週間)」を通して読書の意欲を高める。 ・図書委員会の活動の活性化を図る。	・朝読書を通して、読書の習慣化を図る。	・公共図書館との連携を密にし、資料の充実に努める。 ・定期的に地域ボランティアによる読み聞かせを行う。 ・長期休業等に、地域開放を行い、地域との交流を図る。 ・「図書館だより」の発行や「うちどく」を奨励することによって、読書の啓発に努める。